

備えていますか? 自然災害



**近年の
主な地震・風水害**
(2010年1月1日～2024年1月31日)
※気象庁「気象庁が名称を定めた気象・地震・火山現象一覧」
「災害をもたらした気象事例」「日本付近で発生した主な被害地震」
を参考に、こくみん共済 coop が作成

2019年 台風10号

2014年
広島豪雨・
土砂災害

2017年
九州北部豪雨

2018年
大阪北部地震

2018年
西日本豪雨

2016年 熊本地震

2018年
台風24号

2018年
台風21号

2024年
能登半島地震

2017年・2018年
大雪寒波

2011年
東日本大震災

2011年 北海道雹災害

2018年 北海道
胆振東部地震

**⚠️ 日本海溝・
千島海溝周辺
海溝型地震**
根室沖:30年以内に
地震が発生する確率
60%程度
などさまざまなケース

⚠️ 首都直下地震
南関東域で30年以内にM7
クラスの地震が発生する確率
70%程度
最大の被害想定
死者・行方不明者数/約2.3万人
住宅全壊戸数/約61万棟

東日本大震災の
約5倍

2019年
台風15号

2019年 台風19号

⚠️ 南海トラフ地震(東海地震を含む)
30年以内にM8～M9クラスの
大規模地震が発生する確率 **80%程度**
最大の被害想定 死者・行方不明者数/約32.3万人
住宅全壊戸数/約238.6万棟

東日本大震災の
約20倍

⚠️ 今後30年以内に起こる可能性があるといわれている主な大規模地震
※内閣府「防災情報のページ」「保険・共済加入のすすめ」を参考に、こくみん共済 coop が作成

住まいる共済
火災共済・自然災害共済
風水害等給付金付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

避けられない自然災害には
火災共済+自然災害共済

自然災害共済を
プラスすると
どう変わる?

裏面をチェック!

こくみん共済 (全労済) 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済 推進本部
全日本自治体労働者共済生活協同組合

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

自然災害共済 をプラスすると 共済金にこれだけ差が出ます。

火災共済

火災共済のみ (住宅250口・家財150口)

自然災害共済

火災共済+自然災害共済 (住宅250口・家財150口)

に加入の場合のお支払い例

ベーシック

エコノミー

※自然災害共済には、保障額が手厚い「ベーシック」と掛金を抑えた「エコノミー」の2つのタイプがあります。



ポイント

1

もし、お住まいが**地震の被害**を受けたとしたら…

被害状況

お住まいに100万円超～全損・全焼の被害

火災共済 の共済金	支払われません
自然災害共済 の共済金*	ベーシック ▶ 120万円 ~ 1,200万円 エコノミー ▶ 80万円 ~ 800万円



ポイントはこれですー！

ポイント

2

もし、お住まいが**台風や洪水の被害**※を受けたとしたら…

被害状況

お住まいに全損の被害

火災共済 の共済金*	300万円(①)
自然災害共済 の共済金*	$1口あたりの共済金 \times 加入口数$ ベーシック ▶ 10万円 × 400口 - (①) = 3,700万円(②) エコノミー ▶ 5万円 × 400口 = 2,000万円(③)



手厚い保障が備えられます

おすすめ

火災共済

のみの場合

合計: **300万円**
(①)

自然災害共済

ベーシック

に加入していた場合

合計: **4,000万円**
(①)+(②)

自然災害共済

エコノミー

に加入していた場合

合計: **2,300万円**
(①)+(③)

※ マンション構造で(風水害保障なしタイプ)に加入の場合は、対象外となります。※ 上記の金額に臨時費用共済金は含まれません。

★ 実際にお支払いする共済金の額は、加入いただいている保障額を限度として、被害・損害の程度にもとづきます。

★ 契約にあたってはパンフレットをご覧ください。

不明な点などがございましたら、所属の組合を通じて各都道府県支部にお問い合わせください。

